

I

# 学校教育目標・教育課程の現状

## 第1章 学校教育目標

## 第2章 教育課程編成

- 第1節 年間授業日数・年間授業時数
- 第2節 時間割
- 第3節 教育課程内・外の取り組み
- 第4節 外部人材の活用
- 第5節 学校行事

## 第1章

## 学校教育目標

小・中学校とも、学校教育目標のTOP3は「心の教育 豊かな心」「思いやり」「健康 体力」である。また、小・中学校とも02年調査に比べて、「学力向上 学力定着」「学習習慣」を目標に掲げる学校が増加している。

各学校は、どのような学校教育目標を掲げて教育活動を行っているのだろうか。また、それはどのように変化しているのだろうか。02年調査と10年調査では、各学校の学校教育目標（目標を達成するための基本方針も含む）に含まれている言葉（類似した言葉も含む）を、33項目（10年調査は「その他」を含む34項目）の選択肢から複数回答してもらった。その結果をみてみよう。

まず図1-1-1は、小学校の結果である。10年調査をみると、TOP5は、「心の教育 豊かな心」「思いやり」「健康 体力」「自ら学ぶ力 自己学習力」「生きる力」であり、順位は異なるが02年調査、10年調査とも同じ項目があがっている。また、そのうちTOP3は、6割を超えており、小学校の普遍的な学校教育目標であるといえよう。

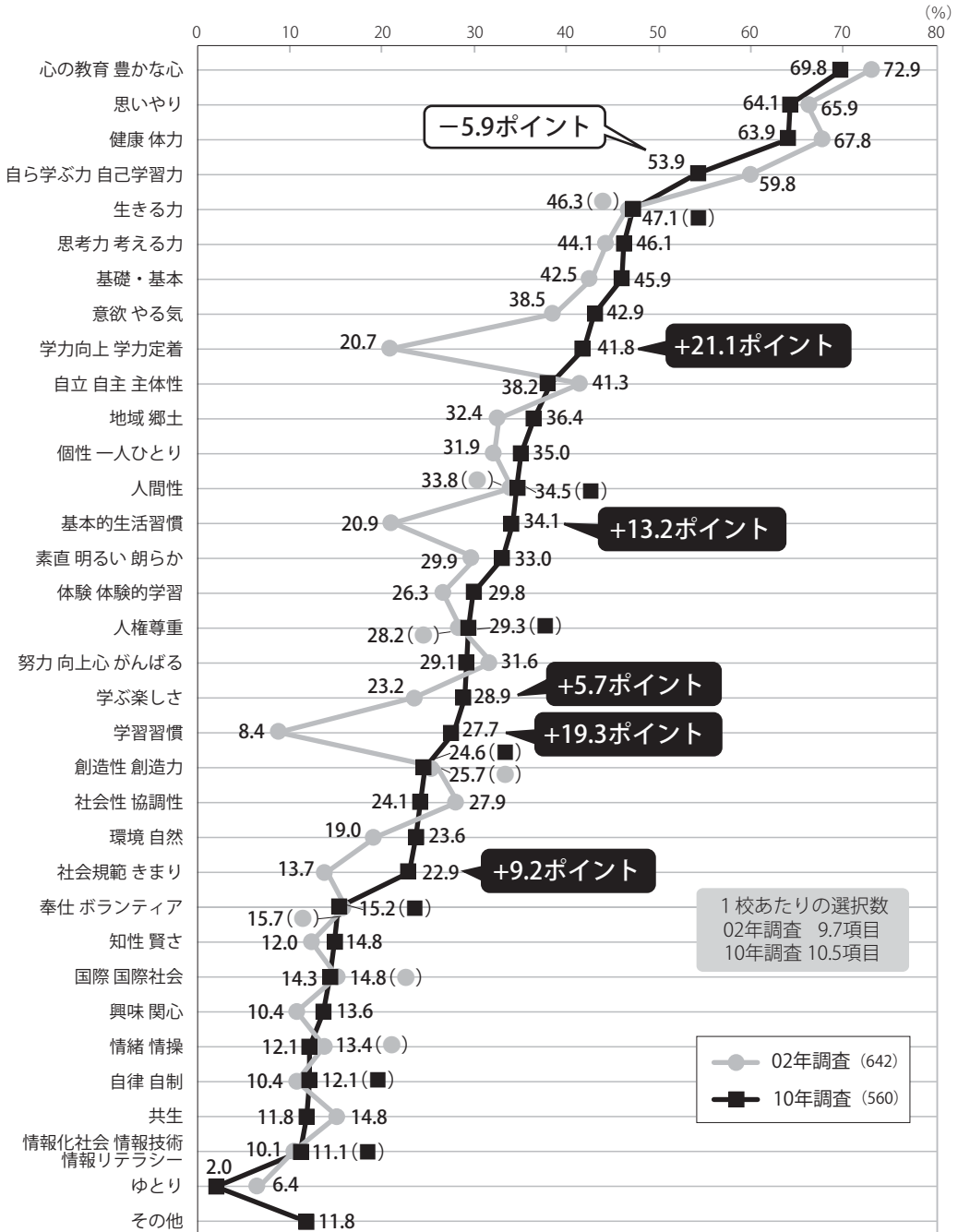
一方、02年調査に比べてとくに比率が上がったのは、「学力向上 学力定着」（21.1ポイント増）、「学習習慣」（19.3ポイント増）、「基本的生活習慣」（13.2ポイント増）、「社会規範 きまり」（9.2ポイント増）である。教育政策として、「確かな学力」の向上や、そのための学習習慣の確立、社会性の育成などが重視されるなか、これらを学校教育目標に掲げる学校が増加したと考えられる。また、1校あたりの選択数（「その他」を除く33項目のうち選択された項目数の平均）をみると、02年調査が9.7項目に対し

て、10年調査は10.5項目で、1校が掲げる項目数はやや増加している。

次に、中学校の結果をみてみよう（図1-1-2）。10年調査をみると、TOP5は、「心の教育 豊かな心」「健康 体力」「思いやり」「自立 自主 主体性」「自ら学ぶ力 自己学習力」である。02年調査と比べると、「思いやり」の順位が上がり、「自ら学ぶ力 自己学習力」の順位が下がっているがTOP5の項目は同じである。また、小学校と比べると、順位は異なるが、TOP3には同じ項目があがっている。

一方、02年調査に比べてとくに比率が上がったのは、「学習習慣」（11.7ポイント増）、「学力向上 学力定着」（11.2ポイント増）である。この傾向は、小・中学校に共通している。また、中学校は、02年調査に比べて比率が下がった項目も多く、「自ら学ぶ力 自己学習力」（14.9ポイント減）、「社会性 協調性」（9.5ポイント減）、「生きる力」（7.2ポイント減）などがある。これらは、政策上、引き続き重視されている項目だと思われるが、「学力」や「学習習慣」をはっきり掲げる学校が増えたことや、中学校では学校教育目標が精選されていること（1校あたりの選択数は、02年調査9.4項目に対して10年調査8.6項目）などが影響していると思われる。また、中学校では「その他」を選択した学校も19.4%あり、33項目以外にも多様な学校教育目標が掲げられているようだ。

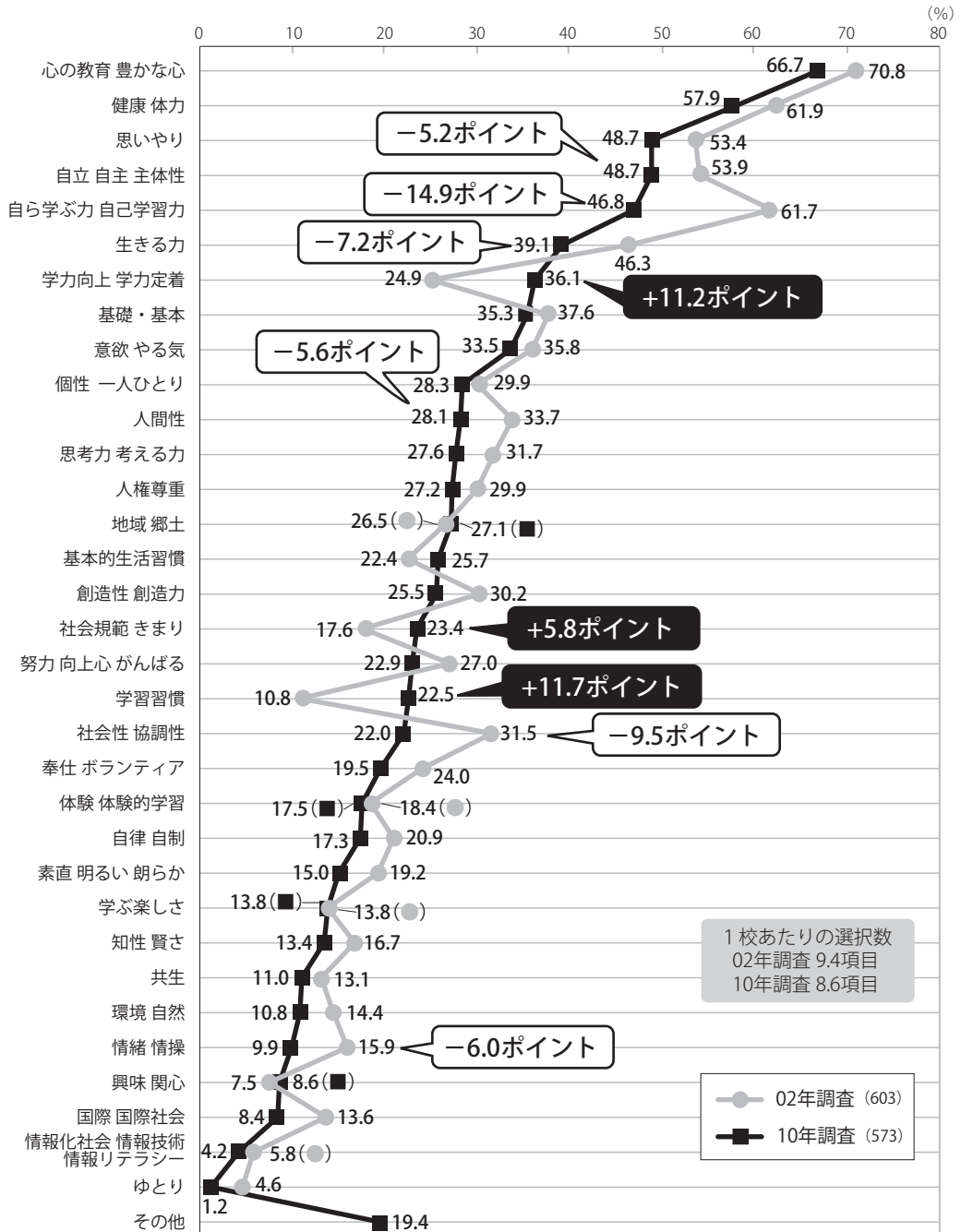
図1-1-1 学校教育目標（経年比較） 小学校校長



注1) 複数回答。  
 注2) 02年調査の選択肢は33項目、10年調査は、02年調査の選択肢に「その他」を加えた34項目。  
 注3) 1校あたりの選択数は、「その他」を除く33項目のうち選択された項目数の平均。無回答・不明を除いて算出している。  
 注4) **黒い吹き出し**は02年調査と10年調査で5ポイント以上差があるもの。  
 注5) ( )内はサンプル数。

I 学校教育目標・教育課程の現状

図1-1-2 学校教育目標（経年比較） **中学校校長**



注1) 複数回答。

注2) 02年調査の選択肢は33項目、10年調査は、02年調査の選択肢に「その他」を加えた34項目。

注3) 1校あたりの選択数は、「その他」を除く33項目のうち選択された項目数の平均。無回答・不明を除いて算出している。

注4) **黒い矢印**は02年調査と10年調査で5ポイント以上差があるもの。

注5) ( ) 内はサンプル数。

表1-1-1 学校教育目標（学校段階別／10年調査） **小学校校長** **中学校校長**

(%)

	小学校 (560)		中学校 (573)
心の教育 豊かな心	69.8		66.7
思いやり	64.1	≫	48.7
健康 体力	63.9	>	57.9
自ら学ぶ力 自己学習力	53.9	>	46.8
生きる力	47.1	>	39.1
思考力 考える力	46.1	≫	27.6
基礎・基本	45.9	≫	35.3
意欲 やる気	42.9	>	33.5
学力向上 学力定着	41.8	>	36.1
自立 自主 主体性	38.2	≪	48.7
地域 郷土	36.4	>	27.1
個性 一人ひとり	35.0	>	28.3
人間性	34.5	>	28.1
基本的生活習慣	34.1	>	25.7
素直 明るい 朗らか	33.0	≫	15.0
体験 体験的学習	29.8	≫	17.5
人権尊重	29.3		27.2
努力 向上心 がんばる	29.1	>	22.9
学ぶ楽しさ	28.9	≫	13.8
学習習慣	27.7	>	22.5
創造性 創造力	24.6		25.5
社会性 協調性	24.1		22.0
環境 自然	23.6	≫	10.8
社会規範 きまり	22.9		23.4
奉仕 ボランティア	15.2		19.5
知性 賢さ	14.8		13.4
国際 国際社会	14.3	>	8.4
興味 関心	13.6	>	8.6
情緒 情操	12.1		9.9
自律 自制	12.1	<	17.3
共生	11.8		11.0
情報化社会 情報技術 情報リテラシー	11.1	>	4.2
ゆとり	2.0		1.2
その他	11.8	<	19.4

注1) 複数回答。

注2) < >は小学校と中学校の数値に5ポイント以上、≪≫は10ポイント以上差があるもの。

注3) ( )内はサンプル数。

次に、表1-1-1は、10年調査の小学校と中学校の数値を比較したものである。これを見ると、小学校のほうが比率が高いものが多く、10ポイント以上差があるのは、「思考力 考える力」「学ぶ楽しさ」「体験 体験的学習」「基礎・

基本」など学力や学び方に関するものと、「素直 明るい 朗らか」「思いやり」「環境 自然」である。一方、中学校のほうが比率が高いものは、「自立 自主 主体性」「自律 自制」などである。

# I 学校教育目標・教育課程の現状

表1-1-2 学校教育目標の類型（10年調査）**小学校校長**

(%)

	自ら学ぶ力重視型 (129)	心・体・基礎基本重視型 (117)	新学習指導要領対応型 (96)	全面強調型 (65)	その他型 (141)	合計 (548)
心の教育 豊かな心	75.2	73.5	90.6	98.5	40.4	71.4
思いやり	67.4	68.4	87.5	95.4	32.6	65.5
健康 体力	65.9	77.8	87.5	100.0	23.4	65.3
自ら学ぶ力 自己学習力	88.4	45.3	68.8	95.4	5.0	55.1
生きる力	20.2	61.5	77.1	95.4	21.3	48.2
思考力 考える力	40.3	48.7	65.6	96.9	16.3	47.1
基礎・基本	6.2	71.8	93.8	95.4	9.2	46.9
意欲 やる気	25.6	38.5	60.4	96.9	29.1	43.8
学力向上 学力定着	7.0	56.4	78.1	95.4	15.6	42.7
自立 自主 主体性	19.4	35.0	65.6	93.8	17.0	39.1
地域 郷土	10.9	29.9	84.4	93.8	9.2	37.2
個性 一人ひとり	7.0	36.8	72.9	90.8	10.6	35.8
人間性	11.6	39.3	55.2	87.7	15.6	35.2
基本的生活習慣	5.4	33.3	75.0	95.4	7.8	34.9
素直 明るい 朗らか	17.8	29.9	54.2	84.6	14.2	33.8
体験 体験的学習	3.1	23.1	75.0	92.3	2.8	30.5
人権尊重	7.8	29.1	55.2	92.3	5.0	29.9
努力 向上心 がんばる	16.3	26.5	36.5	81.5	16.3	29.7
学ぶ楽しさ	4.7	29.1	54.2	87.7	9.2	29.6
学習習慣	7.0	27.4	52.1	90.8	3.5	28.3
創造性 創造力	10.1	20.5	32.3	83.1	11.3	25.2
社会性 協調性	8.5	21.4	39.6	86.2	3.5	24.6
環境 自然	2.3	12.8	55.2	86.2	3.5	24.1
社会規範 きまり	3.1	17.1	43.8	89.2	2.8	23.4
奉仕 ボランティア	1.6	5.1	29.2	75.4	0.0	15.5
知性 賢さ	8.5	16.2	12.5	36.9	12.1	15.1
国際 国際社会	1.6	5.1	22.9	73.8	1.4	14.6
興味 関心	0.0	1.7	22.9	78.5	0.7	13.9
情緒 情操	3.1	10.3	13.5	55.4	2.1	12.4
自律 自制	3.1	8.5	15.6	60.0	0.0	12.4
共生	3.1	6.0	18.8	41.5	7.1	12.0
情報化社会 情報技術 情報リテラシー	1.6	1.7	18.8	60.0	0.7	11.3
ゆとり	0.0	0.0	1.0	15.4	0.0	2.0

注1) 「その他」を除く33項目について非階層的クラスター分析を行った。33項目に1つも○をつけていない12校は分析から除外した。

注2) 数値は、各類型の学校がそれぞれの項目に回答した比率。複数回答。

注3) 70%以上の数値にアミカケをしている。

注4) ( ) 内はサンプル数。

次に、学校教育目標の設定の仕方には、どのようなタイプがあるのかみてみよう。

表1-1-2・3は、クラスター分析（類似度などを基準に関係があるものどうしをグループ化する多変量解析）を用いて、小・中学校の学校教育目標を類型化した結果である。

表1-1-2に示すように、小学校では5類型がみられた。「自ら学ぶ力重視型」では、「自ら学ぶ力 自己学習力」の出現頻度が高く、「基礎・基本」「学力向上 学力定着」の出現頻度は低い。「心・体・基礎基本重視型」は、「心の教育 豊かな心」「健康 体力」「基礎・基本」の出

現頻度が比較的高く、「学力向上 学力定着」の出現頻度はそれほど高くない。「新学習指導要領対応型」は、新学習指導要領に示されている言葉に関連する項目の出現頻度が高い（「生きる力」「地域 郷土」「基礎・基本」「思考力 考える力」「学力向上 学力定着」「自ら学ぶ力 自己学習力」「学習習慣」「体験 体験的学習」「心の教育 豊かな心」「健康 体力」「社会規範 きまり」など）。「全面強調型」はほとんどの項目の比率が高い。「その他型」は他の4類型のいずれにも含まれないタイプである。各類型は、学力への取り組み方（自ら学ぶ力、基礎・基本、学力

表1-1-3 学校教育目標の類型（10年調査）中学校校長

(%)

	心・体・自ら学ぶ力重視型 (138)	基礎基本重視型 (96)	新学習指導要領対応型 (77)	全面強調型 (25)	その他型 (221)	合計 (557)
心の教育 豊かな心	86.2	71.9	93.5	100.0	43.9	68.6
健康 体力	87.7	58.3	85.7	100.0	29.0	59.6
思いやり	65.2	53.1	94.8	100.0	18.1	50.1
自立 自主 主体性	47.1	51.0	79.2	100.0	35.7	50.1
自ら学ぶ力 自己学習力	77.5	36.5	85.7	88.0	17.2	48.1
生きる力	29.0	57.3	77.9	96.0	20.4	40.2
学力向上 学力定着	17.4	58.3	87.0	100.0	15.8	37.2
基礎・基本	9.4	91.7	85.7	100.0	4.5	36.3
意欲 やる気	25.4	50.0	64.9	100.0	15.4	34.5
個性 一人ひとり	10.9	49.0	68.8	88.0	11.3	29.1
人間性	23.2	31.3	58.4	96.0	13.6	28.9
思考力 考える力	25.4	25.0	72.7	92.0	9.0	28.4
人権尊重	20.3	39.6	62.3	84.0	9.5	28.0
地域 郷土	23.9	34.4	59.7	84.0	10.0	27.8
基本的な生活習慣	5.8	50.0	74.0	96.0	4.5	26.4
創造性 創造力	18.1	17.7	53.2	84.0	19.0	26.2
社会規範 きまり	15.9	36.5	59.7	88.0	4.1	24.1
努力 向上心 がんばる	17.4	17.7	40.3	92.0	16.3	23.5
学習習慣	6.5	42.7	68.8	92.0	1.4	23.2
社会性 協調性	15.2	13.5	55.8	92.0	11.8	22.6
奉仕 ボランティア	9.4	20.8	57.1	100.0	4.5	20.1
体験 体験的学習	2.9	27.1	61.0	88.0	0.5	18.0
自律 自制	13.8	16.7	28.6	88.0	9.0	17.8
素直 明るい 朗らか	10.9	24.0	16.9	88.0	5.9	15.4
学ぶ楽しさ	3.6	22.9	28.6	76.0	5.0	14.2
知性 賢さ	13.0	6.3	15.6	52.0	12.7	13.8
共生	10.9	2.1	16.9	72.0	6.8	11.3
環境 自然	5.8	9.4	27.3	92.0	0.5	11.1
情緒 情操	8.0	8.3	9.1	68.0	6.3	10.2
興味 関心	1.4	2.1	31.2	84.0	0.0	8.8
国際 国際社会	2.9	4.2	23.4	68.0	2.3	8.6
情報化社会 情報技術 情報リテラシー	0.7	2.1	9.1	48.0	0.9	4.3
ゆとり	0.0	0.0	3.9	16.0	0.0	1.3

注1) 「その他」を除く33項目について非階層的クラスター分析を行った。33項目に1つも○をつけていない16校は分析から除外した。

注2) 数値は、各類型の学校がそれぞれの項目に回答した比率。複数回答。

注3) 70%以上の数値にアミカケをしている。

注4) ( ) 内はサンプル数。

向上) や、掲げる目標数の違いにより、特徴づけられている。

中学校でも5類型がみられた(表1-1-3)。「心・体・自ら学ぶ力重視型」は、「心の教育 豊かな心」「健康 体力」「自ら学ぶ力 自己学習力」の出現頻度が高く、「基礎・基本」「学力向上 学力定着」の出現頻度は低い。「基礎基本重視型」は、「基礎・基本」の出現頻度が高く、「自ら学ぶ力 自己学習力」「学力向上 学力定着」の出現頻度はそれほど高くない。「新学習指導要領対応型」は、新学習指導要領に示されてい

る項目の出現頻度が高い。「全面強調型」はほとんどの項目の出現頻度が高い。「その他型」は他の4類型のいずれにも含まれないタイプである。

小・中学校とも、「自ら学ぶ力重視型(中学校は、心・体・自ら学ぶ力重視型)」の学校がもっとも多くみられ、それに次いで、「基礎基本重視型(小学校は、心・体・基礎基本重視型)」であった。また中学校は、「全面強調型」の学校は少なく、「その他型」が多かった。